

「郷土・桜の史跡めぐり ウォーキング」

日時：平成25年(2013年)11月17日(日曜日)

天気 晴一時曇

気温 最高15.1/最低7.0℃

主催：桜地区社会福祉協議会

協力：桜郷土史研究会 地元の方3名



(桜地区市民センター玄関前で受け付けを済ませた参加者の姿)



(桜地区社会福祉協議会 伊藤文化部長が参加者に本日のコース説明と注意事項について話がある)



(桜地区社会福祉協議会 佐野会長より開会の挨拶)



(桜郷土史研究会 石川代表の挨拶)



(① “桜観音堂” では、地元の方で現地説明される方がみえず
「桜郷土史研究会員」が担当)



(② “大師堂” でも、地元の方で現地説明される方が見つからず
「桜郷土史研究会員」が担当)



(③ “鶉<ヒヨドリ>岡白滝不動” では、智積町の小林隆郎さんに不動明王を祀られた
由緒についてお話をして頂いた)



(④ “雨池”の堰堤より“ひょうたん池”
があった方向について簡単に紹介)



(新しいコースである毘沙門天の参道脇、
に古くから建てられている、“表忠碑”
について「桜郷土史研究会員」より簡単
な説明をする)・・・ 史跡対象外



(⑤ “一生吹山”頂上で、「一生吹山の歴史」について「桜郷土史研究会員」が



手作りの説明図を使い説明する)



(⑥ “メダカの学校”は、校長より里山の環境を守るため棚田を利用して「初瀬の
ピオトープ」をつくり、在来種のクロメダカを大切に育て子供達に自然の大切さを
伝えているお話を聞く)





(⑦ “智積廃寺跡”では、四日市市教育委員会在職中に遺跡の発掘調査に携われた桜台の水谷健吉さんに当時の状況のお話をして頂いた)



(⑧ “引石跡”では、前回の「桜の史跡めぐり」で建っていた「左岸の引石」は、今年10月に西勝寺境内の「右岸の引石」の傍に移設したことを報告する)

桜郷土史研究会
鈴木 健一